

2月市長定例記者発表要旨

と き 令和2年1月31日（金）11時～ ところ 庁議室

1 令和2年1月27日暴風・大雨による被害状況について

(1) 被害状況

ア. 人的被害

| 死亡 | 重症 | 軽傷 | 行方不明 | 救出 |
|----|----|----|------|-----|
| — | — | — | 1人 | 24人 |

イ. 建物被害

(単位：棟)

| 区分 | 全壊 | 半壊 | 床上 | 床下 | 被害 | 火災 | 計 |
|-----|----|----|----|-----|----|----|-----|
| 住家 | — | 4 | 23 | 83 | — | — | 110 |
| 非住家 | — | 0 | 0 | 28 | — | — | 28 |
| 計 | — | 4 | 23 | 111 | — | — | 138 |

ウ. 道路全面通行止め区間

- ・蒲江地域 市道色利尾浦線（くろしおライン）

(2) 対応状況（敷地内の土砂撤去等）

早期生活再建のため、30日から31日の2日間、市職員を中心に社会福祉協議会や市災害ボランティアネットワーク協議会、県南部振興局職員など延べ約200人で対応。

2 令和2年度さいき城山桜ホール開館記念事業のラインアップの決定について

10月31日に開館するさいき城山桜ホールにおいて、開館後1年間をめぐりに実施する記念事業のうち、令和2年度に実施する主催・共催事業が決定した。

全17事業を予定し、うち7事業は市民からの提案によるもの。より多くの市民の皆さんにさいき城山桜ホールに足を運んでもらい、国内外で活躍するアーティストや人気の芸能人、なじみ深い曲目や演目による一流の芸術文化を楽しんでいただけるものとした。

主な事業は次のとおり。

(1) 「ファミリーコンサート オーケストラで聴くジブリ音楽」※主催事業

スタジオジブリの人気アニメ音楽の歌と演奏

(2) 「かんだまつのじょう 神田松之丞 独演会」※主催事業

新進気鋭の講談師による講談

(3) 「^{タオ}TAO フェスティバル」 ※主催事業
世界的な和太鼓エンターテインメント集団による公演とワークショップ

(4) 「ネマニャ・ラドゥロヴィチ ヴァイオリン公演」 ※市民提案、共催事業
パリを拠点に国際的に活躍するヴァイオリニストによる公演

(5) 「^{いせしょうぞう}伊勢正三 コンサート」 ※市民提案、共催事業
市歌の作詞作曲にまつわるトークを交えたコンサート

※詳しくは「令和2年度さいき城山桜ホール開館記念事業一覧」参照

3 国民文化祭レガシー事業 第6回佐伯市こども・市民ミュージカルについて

昨年度の国民文化祭・全国障害者芸術・文化祭を契機として本市の文化芸術の裾野をさらに広げていくため、今年度の佐伯市こども・市民ミュージカルを国民文化祭レガシー事業と位置付け開催する。同ミュージカルで子どもたち 97 人は、2組に分かれプロの演出家の指導のもと、懐かしい数え唄や現代的な楽曲、狂言の舞を融合させた、より芸術表現を高めた舞台に挑戦する。

佐伯市こども・市民ミュージカルは、コミュニケーション能力の育成、文化芸術の振興、地域の活性化などを目的として行っており、今年で6年目となる。

(1) どれすけほうほう ～おえいおかよの海坊主退治～ << 初公演 >>

ア. と き 2月23日(日) 14時開演(13時開場)

イ. ところ 佐伯文化会館 大ホール

(2) ボクとムーサの物語 ～百年の森 僕らと城山～

<< 思い出の初舞台を文化会館でリメイク初公演 >>

ア. と き 3月29日(日) 14時開演(13時開場)

イ. ところ 佐伯文化会館 大ホール

(3) 入場券について ※(1)(2)共通

ア. 販売金額 指定席 800円 自由席 500円

イ. 販売場所 佐伯市教育委員会社会教育課窓口(佐伯教育市民ホールまな美内)

※詳しくは「どれすけほうほう ～おえいおかよの海坊主退治～」及び
「ボクとムーサの物語 ～百年の森 僕らと城山～」チラシ参照

4 木浦すみつけ祭りについて

鉾山の守り神である山ん神に諸々の安全を祈願する「木浦すみつけ祭り」が開催される。祭りは、輪切りにした大根に付けた墨を来場者たちがお互いの顔に塗り合うもので、大分県の奇祭の一つとされている。隔年の開催で、市内外から約 600 人の参加がある。

(1) と き 2月8日(土)

神 事 9時45分～

すみつけ 11時35分～

(2) ところ 山神社(宇目木浦鉾山)

(3) その他 餅まき、ステージアトラクションのほか、豚汁の振る舞いの無料接待などがある。

※ 木浦すみつけ祭りチラシ 添付

5 防災教育ハンドブック等の作成について

地震、台風による災害発生時等に、自らの安全を確保する行動がとれるようにするとともに、日頃から災害時への備えができるようにするための防災意識を高めるツールとして、「防災ハンドブック」の作成を進めている。

ハンドブックは、災害への備えや災害時の安全対策などをまとめたもので、小学校低学年、高学年、中学生、高校生の子どもの成長ステージ別、女性目線で考えたものの5種類。

今後、ハンドブックを使用した防災教育及びワーキンググループを開催し、参加者の意見を踏まえて、より実用的なものに仕上げ3月11日に配布する。

(1) 防災教育

ア. 2月10日(月) 蒲江翔南学園(3、5、8年生)

イ. 2月10日(月) 直川小学校、中学校(全校児童・生徒)

ウ. 2月28日(金) 佐伯鶴城高校(SSH 防災班15人ほど)

(2) 女性目線で考えた防災ハンドブックワーキンググループ

2月27日(木) 10時～ 市役所第1委員会室

防災士会女性部会、女性消防団、市議会議員など

(3) 防災ハンドブックの配布

市内各学校、公民館、市役所のほか、母子手帳配布時、健診時、ホームページからのダウンロード

6 佐伯市コミュニティバス路線情報のアプリケーションなどによる提供について

株式会社ナビタイムジャパンが運営するウェブサイト及びアプリケーションで、佐伯市コミュニティバス路線及び乗り継ぎ情報の提供サービスを開始する。

これは、同社と市コミュニティバスデータ利用契約を締結し、時刻表及び運賃並びにバス停留所に係るデータを提供することにより、佐伯市コミュニティバスと他の公共交通機関をあわせた路線、乗り継ぎ情報の取得を可能とするもの。乗り継ぎ情報の取得が容易になり、公共交通機関の利便性の向上が期待される。

(1) サービス開始時期

2月下旬

(2) サービス提供が可能となる媒体

ア. ウェブサイト

ナビタイム www.navitime.co.jp

イ. アプリケーション

NAVITIME